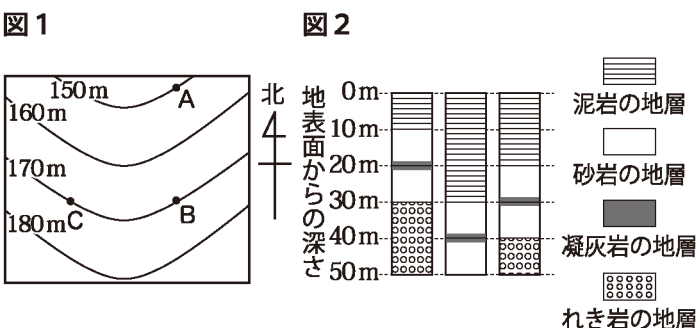


問題【理科】

図1はA地点からC地点の等高線の図で、図2は各地点のボーリング資料を元にした柱状図です。この地域の地層は堆積した当時は水平でしたが、その後地層が傾きました。東西南北のどちらの方向に下がっていますか。答えましょう。



豆知識 雑学コラム

難問！大地の変化

今回は中1の大地の変化の難問に挑戦します。ボーリング資料というのは地面の中に筒を入れていき引き上げ、巻きずしのようになった地面の中身を取り出して見れるようになった資料のことです。

私が小さかったころ、近くの女の子が家建て替えてボーリング資料を小学校に持ってきたことがあります。資料よりもとても大きな家を建てたことが羨ましかったことを覚えています。

では本題です。問題にある通り地層は水平に堆積します。その後地殻変動などを受け、傾くことがあります。それを柱状図から読み取ることがこの問題のカギになってきます。柱状図はその場所からの地下のことは分かれますが、単純にそのまま比べられません。ではポイントです。二つあります。

※かぎ層に注目

※標高で考える

かぎ層というのはそのままかぎになる地層のことで珍しい地層、つまり凝灰岩に注目するといいいですね。何m掘ったのではなく標高何mにあるのか考えます。

A地点⇒標高150m 20m掘ると、かぎ層つまり標高130m地点

B地点⇒標高170m 40m掘ると、かぎ層つまり標高130m地点

C地点⇒標高170m 30m掘ると、かぎ層つまり標高140m地点

A Bから南北の傾きはなし。B CからBの方に低くなっています。

【解答】

単